

SHIMIN
市民フォト
PHOTO

鹿児島

☆特集/ボランティアを楽しもう

NO.
65

平成8年7月1日 発行





わが町 上空散歩

写真中央部にひろがる
住宅群が緑ヶ丘団地である。
その右下にゆるやかに
蛇行している九州縦貫自
動車道。その中で写真右
端の膨らんでいる部分が鹿
児島バリア料金所。鹿児島
市北部の交通の要を下に
見るかつこうである。

団地内で三角形のビル
群を構成しているのが、県
営住宅で、その横に、緑の
屋根の武道館とグラウン
ドを持つのが、緑丘
中学校。九百名を超える
生徒が勉学に励み、野球・
バスケットボールなどスポ
ツも盛んな学校である。

周りは、岡之原町、川上
町、下田町と、緑の豊かな
面積の大きな町に取り囲
まれている。

その中にすっぽりと入っ
ている緑ヶ丘町は、平成八
年五月現在で、約千世帯、
三千人が暮らしており、見
晴らしのよい空気のすがす
がしい町である。

● 表紙写真説明
夏の夕暮れ。六月灯の帰り、いづろ
通りのミニ噴水の前を通りかかる。
幻想的にライトアップされた噴水
の赤、青、黄をすり抜けたさわやかな
夜風が浴衣をそよぎ、涼感が広がつ
ていく。時間が止まつた街の異次元
空間。

あなたも、夏の夕涼み、近くの公
園や街かどの「ミニ噴水ワールド」へ
出かけてみてはいかがですか。

モデルはミス鹿児島の松浦美佳さ
ん(左)とお友達の木之下嘉代さん。

CONTENTS

市民フォト鹿児島
No.65

わがまち上空散歩

2

【特集】ボランティアを楽しもう

3

カメラトピックス

14

学校探訪 ● 吉野東小学校

16

ロード鹿児島 ● 紹昭平さんと陶華さん

18

シティーアングル ● 猫の目線

19

私の好きな場所 ● 土岐直通さん

20

かごしまの自然 ● 比志島の滝

25

(皆与志町)周辺

22

よかタイム ● 大野健治さん

24

かごしまの自然 ● 比志島の滝

25

ふるさとの歴史探訪

20

● 薩摩のぼっけもん(宇宿町)

22

市民ギャラリー ● 中央公民館

26

あなたのフォトサロン ● 佐藤良一さん

28

集え! 楽し ● 山坂達者者の会

30

市立美術館 ● 大黒天

31



♣♣♣ 特集/ボランティアを楽しもう ♣♣♣



おもちゃ図書館エーハジケへ遊びに来て

私は、おもちゃ図書館に一才の時から来ています。
たくさんの友だちに出会い、いろんなことを学びました。
まず障害を持つ人と、遊びことがあります。
別に障害を持つ人とも、みんな遊び時は、ふつうの子と
いっしょです。というより、ふつうの子より本いです。
だから私は日に二回のおもちゃ図書館が大好きです。
楽しいです。

田星峯西小学校 六年

永野梨奈

今、ボランティア活動への関心が高まっている。

何かボランティアをしてみたいのだけど…という声をよく聞く。
きっかけさえあれば、誰でも参加できるのが、ボランティア。

そして、みんなで楽しむことができるのも、ボランティア。

今号では、実際に色々なボランティアに取り組んでいる市民の姿を追ってみた。



みんな集まって 風船バレーを 楽しもう!!

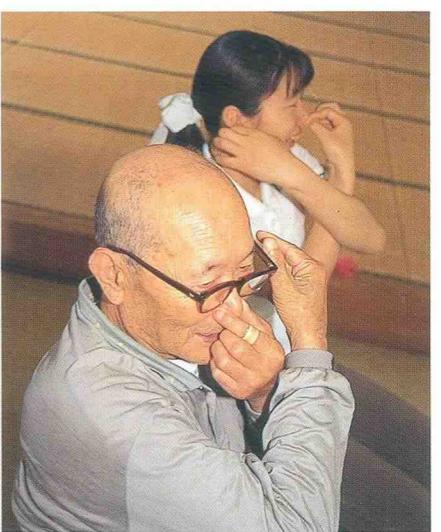
鹿児島経済大学ボランティアグループ『ふれあい』

近年、近隣とのふれあいが希薄になる中、
地域の人々とのふれあいを地道に行っているグループがある。

鹿児島経済大学ボランティアグループ「ふれあい」。

今回は、新しいメンバーも加わって、
毎月訪問している養護老人ホーム寿光園へ。
期待と不安が入り交じった表情の1年生、再会を懐かしむ上級生。

出会いとふれあいを求める
彼らの活動のひとコマを追ってみた。



「おじいちゃん、右、右、やつたあ！」

元気な明るい声が響いているのは、養護老人ホー

ム慈眼寺寿光園の食堂、にわか仕立ての風船バレー

コード。

バレーに参加しているのは、寿光園のみなさんと鹿児島経済大学ボランティアグループ「ふれあい」のメンバー。折りたたみのパイプ椅子を3脚2列に並べ、参加者が思い思いに座れば1チーム結成。ネットはビニールひもを持つ「ふれあい」のメンバー2人。審判も兼ねている。風船も薬局でもらつたものだ。

しかし、試合は白熱した。風船バレーは初速が出来る。おばあちゃんの歯を食いしばったアタックに、思わずのけ反る「ふれあい」の男の子。一つのボールに老若男女問わずレシートの手が伸びる。何回ものラリーに決着が着けば、残念がる人、椅子を軋ませて喜ぶ人、ラリーに分析を加える人、ただ笑っている人、等々明るい雰囲気が広がる。

アタックNo.1のおばあちゃんに風船バレーのおも

しきさを聞いてみた。

「そいは、相手をやつつけたときよ。でも、『ふれ

あい』のは本当に気持ちのよか若者じゃらしい。」

舞台は次いで指遊びに移った。

左手で鼻をつまみ、右手で左耳に手をかける。

リーダーの合図で右手で鼻、左手で右耳に持ち替え

る。要領のいい人、悪い人が一目瞭然。座は笑いの

渦に…。

今回初めて寿光園を訪問した1年生の藤原知美さ

んに聞いた。

「初めておじいちゃんやおばあちゃんたちと会つた時は、どんな話しをしたらいいのか判断らずに不安でした。風船バレーの最初の時、横に座つたおじいちゃんに話しかけようと思つたけど、口がいうことをききませんでした。(笑)」

でも、一緒にバレーや指遊びなど、体を動かしたりしているうちに、「以前からおじいちゃんやおばあちゃんを知つているような感じになつて、気がついたら一緒に喜んだり、残念がつたり、声を掛け合つていました。」

「ふれあい」の会長、宮下智和さんにボランティア活動の魅力を語つてもらつた。

「『ふれあい』では、いろんな方々との出会いを大切にしています。老人ホーム・養護施設の訪問、近くの地域福祉館での子どもたちとのふれあいなど、頭で考えているよりも、出かけていつて会う、話す、遊ぶことに重点を置いています。そこで何を感じるのは、各人それぞれでしょうけど…。私の場合は、寿光園に行つて、おばあちゃんに『元気だつた?、この前のテルテル坊主まだ持つてるよ。』なんて声かけられたら、本当元気もりもりになりますね。(笑)」





A 1、「ボランティア活動に興味があるんですが……」

Q 1、「ボランティア活動に興味があるんですが……」
A 1、「最近幅広い世代でボランティア活動についての関心が高まっています。しかし、あなたが何かボランティア活動をしたいと思っていて、きっかけがつかめないでいいれば、社会福祉協議会へ相談をするのも一つの方法です。」

A 2、「社会福祉協議会？」そういえばよく聞くけど、どんな組織なんですか？

Q 2、「社会福祉協議会？」そういえばよく聞くけど、どんな組織なんですか？
A 2、「なるほど、地域住民や社会福祉関係者等の参加、協力を得て組織している民間の社会福祉団体です。簡単いうと、市福祉行政と密接な連携のもと、高齢者や障害者、児童及び恵まれない人々が「いつでも、どこでも、だれでも」在宅サービスを受けることができる、「地域で安心して暮らせる福祉のまちづくり」を推進するのが、社会福祉協議会の役目です。」

A 3、「社会福祉協議会のボランティア係（☎二四八一三〇〇）担当員ですか？」

Q 3、「なるほど、地域住民に身近なところで福祉活動を進めている組織なんですね！是非、ボランティア活動をしてみたいのですが、そこのところをもっと詳しく教えて下さい。」

A 3、「まず、社会福祉協議会のボランティア係（☎二四八一三〇〇）担当員へ問い合わせてもらえば、やつてみたい活動の希望や必要事項等をお聞きします。そして、その時に希望にあうような活動があれば、その場で紹介、斡旋等をします。またその後でも、名簿に登録し、希望にあうようなボランティア依頼があれば、こちらから斡旋をいたします。」

Q 4、「では、最後に社会福祉協議会がボランティア関係で他にもやっている事業があれば教えて下さい。」

A 4、「社会福祉協議会では、大きく分けて二つのボランティア支援事業を行っています。一つは、ボランティア活動の啓発、情報提供、ボランティア活動保険の受付、助成等です。もう一つは、ボランティア育成事業で、市内の小・中・高校を対象にボランティア活動を通じて、奉仕や連帯の精神・体力・協力を指定し、様々な活動体験を通じて、精神・体力・協力を育成等に努めています。」

Q 5、「ボランティア登録制度を利用しています！」

（社会福祉法人）市社会福祉協議会
祇園之洲町1-1-2
市福祉コミュニティセンター内

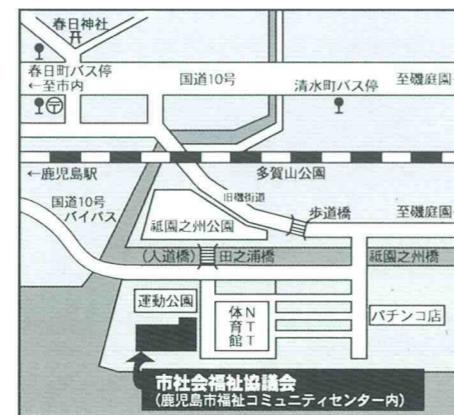
ボランティアをやりたい人集まれ！

市社会福祉協議会

☎248-1200



市建具同業組合
組合長 枝元 純一さん



連絡先
事務局長 中崎 真
(電話)二六一-四六〇七

おもちゃとよかん"エンジニア"は…

障害をもつ子どもたちに出会いとふれあいの機会を提供し、おもちゃを貸し出すことによりその素晴らしさと遊びの楽しさを知ることを目的としています。
また、お年さんとの交流の場もあります。年齢にかかわらず、とにかくでも気軽に遊びにいらして下さい。

開館日：毎月 オ1.オ3.土曜日
時間：午後2:00～4:00
場所：鹿児島市心身障害者総合福祉センター
鹿児島市真砂本町58-30
(099)252-7900

連絡先
TEL 220-0783 松永文子

大好きなおもちゃの絵

ぬのの絵本のケーキ
ぬのの絵本のケーキ
ままごとのケーキ
きゅうきゅうしゃ

新聞の紹介を見てとても興味を持ったので参加しました。いくさんの3歳以下の一人ひとりの個性を見出せるのがとても楽しいです。
生き生きとした子供たちやお母さんに接していると私も元気で出ます。

寺師 智子

ひまわり電車を走らせる会



連絡先
事務局長 中崎 真
(電話)二六一-四六〇七

一度いいから電車に乗ってみたい。」というある重度障害者や高齢者、そしていろいろな仕事をもつた若いメンバーが集まって、実行委員会を開いています。今年は九月二十九日に、バスによる鹿児島市街地を一周し、昨年はJR特急つばめで熊本まで行きました。昨年は市電で鹿児島市の史跡めぐりを計画していました。関心のある方は参加してみませんか。

現在、毎週火曜日に、真砂本町のゆうあい館で、豊かな街づくりの願いを抱いて私たちが活動しています。みんなと一緒に乗ってみんなで頑張ってみない？

どうすぐ何かかさと何かが見つかるはず…見えてくる
あなたの夢を託す
みせんか？!
サークル気分で気軽に乗る
仲間と一緒に乗らせてみませんか？
仲間っていいなってきっと思うよ！Come On
Himawari.~

利用しています！
ボランティア登録制度

私たち市建具同業組合は、社協のボランティア登録制度を利用して、施設の補修などの活動を行っています。社協から施設を紹介いただいています。ですが、前回は吉野学園の押入れや机の引出しの補修の際にきました。

うちの組合の若い連中も連れていったのですが、はつきりいつ最初はしぶしぶついてきた彼らが一仕事終えて帰つくると、にこにこして「次はいつですか」と言っています。聞いてみると、施設の子どもたちから非常に喜ばれた、また、子どもの笑顔を見てみたいとのこと。

「仕事に対する誇り・喜び」といった貴重な財産を私たちに与えてくれるボランティア。これからも続けていきた

広げよう ボランティアの輪

市長とボランティアに聞く

市長

本日は市長、そしてボランティアに取り組まれているお二人の方にお越し願いました。今何かと話題のボランティアについて、みなさんにお聞きします。

まず、市長に伺います。

阪神・淡路大震災では多くのボランティアが活躍し、活動に寄せる関心も高まっているようですが…。

ます。

かつて、ボランティアと言えば、福

祉というイメージが強かったが、最近

では、医療、教育、環境保全、国際交

流など、その活動領域が広がりつつあ

ります。また、ボランティアに参加す

る人も、企業内でボランティアグル

ープをつくって活動されるケースが多く

なつており、層が厚くなつたなあと

思いましたね。さらに、昨年の阪神・淡路

大震災では、全国から集まつた若者が

ボランティアに取り組む姿が見受けら

れました。震災という打ちのめされた

雰囲気の中、明るい華が咲いたような

気がしました。日本の若者もしっかりと

しているなあと力強い思いを持つたと

ころです。

今、市長の方から企業ボランティア

の話しが出ましたが、企業内でボラン

ティアグループを結成された小宮路さ

ん。ボランティアを始めるようになつ

たきっかけをお聞きしたいのですが…。

いきました。

小宮路
市長

三年前、理髪店のご主人がお年寄りの散髪をボランティアでしているテレビを見て、自分がボランティア活動を通して地域に何か還元はできなかつたのかと思つたのがきっかけでした。ちょうどその時、企業内で論文募集がありましたので、その気持ちをテーマに応募したところ、そこからグループの結成につながつていきました。

その時の職場の反応はどういうものだつたのでしょうか。

小宮路さん

かつて、ボランティアと言えば、福祉というイメージが強かったが、最近では、医療、教育、環境保全、国際交流など、その活動領域が広がりつつあります。また、ボランティアに参加する人も、企業内でボランティアグループをつくって活動されるケースが多くなつており、層が厚くなつたなあと思いましたね。さらに、昨年の阪神・淡路大震災では、全国から集まつた若者がボランティアに取り組む姿が見受けられました。震災という打ちのめされた雰囲気の中、明るい華が咲いたような気がしました。日本の若者もしっかりとしているなあと力強い思いを持つたところです。

市長

小宮路

さん

市長



5月10日 防災点検

梅雨入りを前に、赤崎市長ら市関係者が市街地地区と桜島地区の2班に分かれ鶴ヶ崎水路や持木川などの雨による被害が発生しやすい箇所を点検しました。



5月19日 市畜産フェスタ
与次郎ヶ浜で開催された市畜産フェスタは、大勢の人でぎわいました。牛や豚の品評会や肉製品の試食、農産物の即売コーナーのほか、動物たちとのふれあいコーナーも設けられ子どもたちにぎやかな声が絶えませんでした。



6月19日 西駅市民サービスステーション・市民プラザオープン
新しく完成した西鹿児島駅舎内に、市民サービスをさらに充実させるための二つのスペースがオープンしました。住民票の写しや戸籍謄本などの請求ができる西鹿児島駅市民サービスステーションと、市政に関する情報などをお知らせする西鹿児島駅市民プラザです。お気軽にご利用ください。



6月6日 魚供養

魚類市場卸売場で魚供養が行われました。当魚類市場の昨年の取扱量は約3万7千トンで、南九州一の生鮮魚介類の流通拠点。これからも消費者に新鮮な魚介類をお届けできるように、関係者が市場の発展と安全を祈願しました。



4月1日 中核市誕生

本市は、4月1日全国で最初の中核市として誕生しました。中核市は政令都市に準じた権限が与えられており、市民サービスの向上に努めるとともに、魅力あるまちづくりの推進、南九州の中核市としてのイメージアップを市民と手を取りあって進めています。

CAMERA カメラ・トピックス TOPICS



4月26日 ミス鹿児島夏服衣がえ
'96ミス鹿児島の夏の制服の披露がされました。今回の夏服は、上品で清楚なオフホワイトに、ブルーと南国の明るい太陽をイメージしたオレンジのフレッシュなカラーコンビネーションが目に鮮やかです。明るい笑顔で観光鹿児島をさらにPRしてもらいたいですね。



3月24日 第3回ボランティア活動を学びあう市民のつどい
ボランティア活動を始めようとする人や、すでに活動している人たちに学習の機会を提供することで、活動への参加やサークル活動の促進を図ろうとするもので、シンポジウムのほか、アイマスク体験などのボランティアスクールに多くの市民が参加しました。



4月8日 鹿実野球部
第68回選抜高校野球大会
優勝報告

とうとうやってくれました。第68回選抜高校野球大会で見事日本一を勝ち取った鹿実ナインが、優勝報告のため、市役所を訪れました。報告をする選手の一人ひとりから、努力を積んで栄冠を勝ち取った者のみが発する輝きを感じました。

学校探訪

豊かな自然 輝くひとみ
さわやか吉野東小

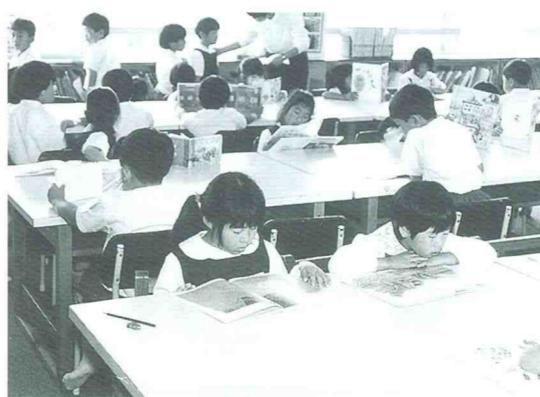


みんなで巣箱作り
<6月の父兄参観日>

「何が書けるかな!?」パソコンクラブ



「早く大きくなあれ」学校農園でのいも植え



「どんな本が好き？」図書の時間



吉野東小学校

自然と語らい、新しい歴史を！

六年 持富 貴子

私たちの吉野東小学校は、開校十五年の新しい学校です。鹿児島市の北・吉野台地にあり、豊かな自然と歴史の香りに包まれ、すばらしい環境にあります。

私たちの学校の自慢はたくさんありますが、いくつか紹介してみたいと思います。

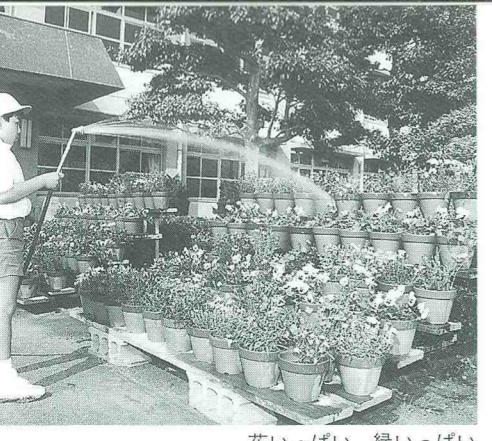
一つ目は、すばらしい自然に恵まれているということです。近くには寺山公園や吉野公園があり、学校には季節の花々が咲き、いろいろな野鳥が遊びに来て私たちを楽しませてくれます。

二つ目は、校歌の中に「西郷さんの足あとを朝な夕なに踏みしめて」とあります。学校の近くにたくさんの史跡があり、私たちの誇りになっています。

三つ目は、「吉野東の日」です。第三土曜日の「吉野東の日」には地域の人たちと一緒に自分たちで工夫して、いろいろな活動をしています。たとえば、灯ろう作り、七夕づくり、そごめん流し、お年よりとのふれあい、鬼火たきなど地域別に計画をたてて、お互いに協力して楽しく活動しています。

校訓は、「かしこく なかよく たくましく」です。よく考へ、進んで学ぶ子・礼儀正しく思ひやりのある子・心と体をきたえ、ねばり強い子を目標に活動しています。

これからも先輩たちの築いた伝統に学びながら、自然と語らい新しい吉野東の歴史を築いていきたいと思います。



WELCOME TO KAGOSHIMA



ハロー鹿児島

羅 昭平さん
陶 華さん

羅 昭平
陶 華

(中国 長沙市)



さわやかなほほ笑みを浮かべる女性二人。左側が羅昭平さん、右側が陶華さん。

二人は、今年四月に友好都市である中国の長沙市から鹿児島市にきた研修生。現在、鹿児島市役所の国際交流課で、日本の地方自治制度や行政の市民サービスなどについて研修しています。

羅さんは、長沙市の国際交流を担当する人民政府外事弁公室の職員。すぐに気さくな笑顔を向けてくれます。一方の陶さんは、長沙市のニューハイテク産業開発区管理委員会の日本語の通訳。穏やかな雰囲気で流ちょうな日本語を話します。

研修を重ねる毎日ですが、仕事の進め方や市民への接遇など、帰国後の仕事に活かせることがたくさんあります。意欲満々です。

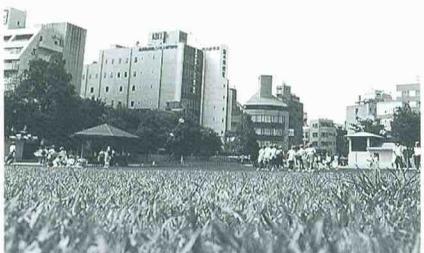
鹿児島での生活は思ったより早くはじめたらしく、友人も増えたし、湿度の高い気候も日本の食べ物も苦にならないとのこと。また、長沙市と共通するいろんなものを発見して安心したといいます。例えば、日本庭園の植え込みや石組みの様式、街路に咲きほこる花々など。

「長沙市の人も花が大好き。花の美しい季節に鹿児島の皆さんも来てください。日本語を話せる人も多いですよ。」と陶さん。

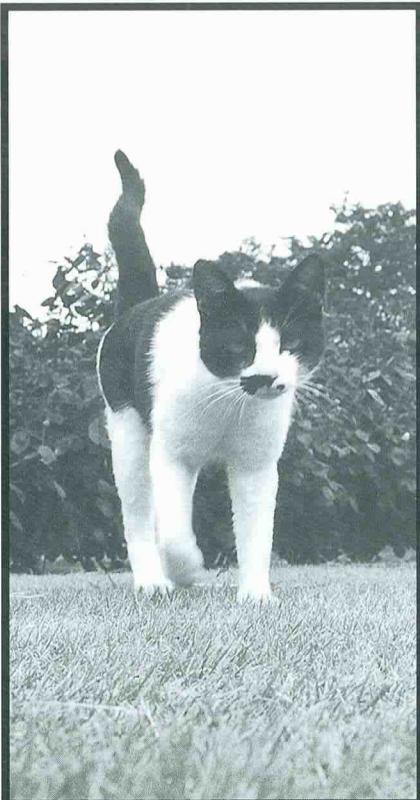
二人が帰国するのは来年の三月。「もちろんさびしいときもあるけれど、学ぶことが多くて毎日過ぎていくのがとても早い。ただ、息子がちゃんと勉強してるか少し心配」と話すのは羅さん。大丈夫、大丈夫。頑張る二人をご家族同様私たちも応援していますよ。

CITY ANGLE

シティーアングル



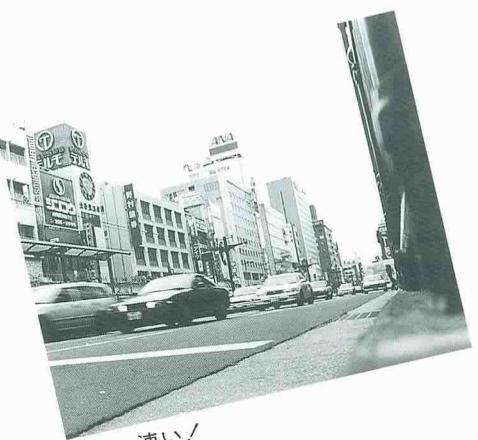
広い公園気持ちがいいなあ
(中央公園芝生広場)



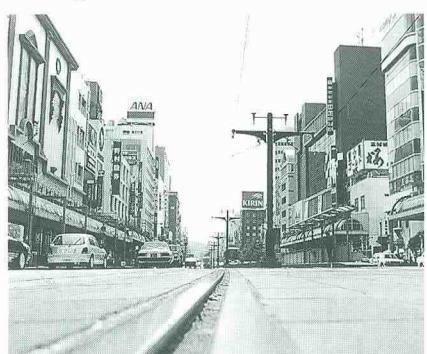
ぼくが今日の主役…



冷たい！（中央公園の滝）



車！速い！



そろそろ帰ろかな



待ってくれ～



お腹すいたあ

猫の目線

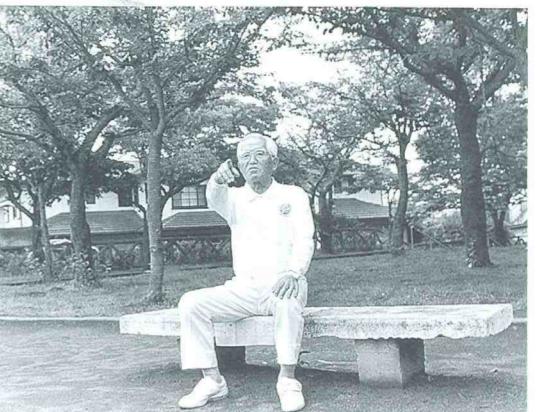
おとなの目の高さ。子どもの目の高さ。

みんなそれぞれ違うけど、それよりもぐっと低い、猫の目の高さから
街を見てみると…。

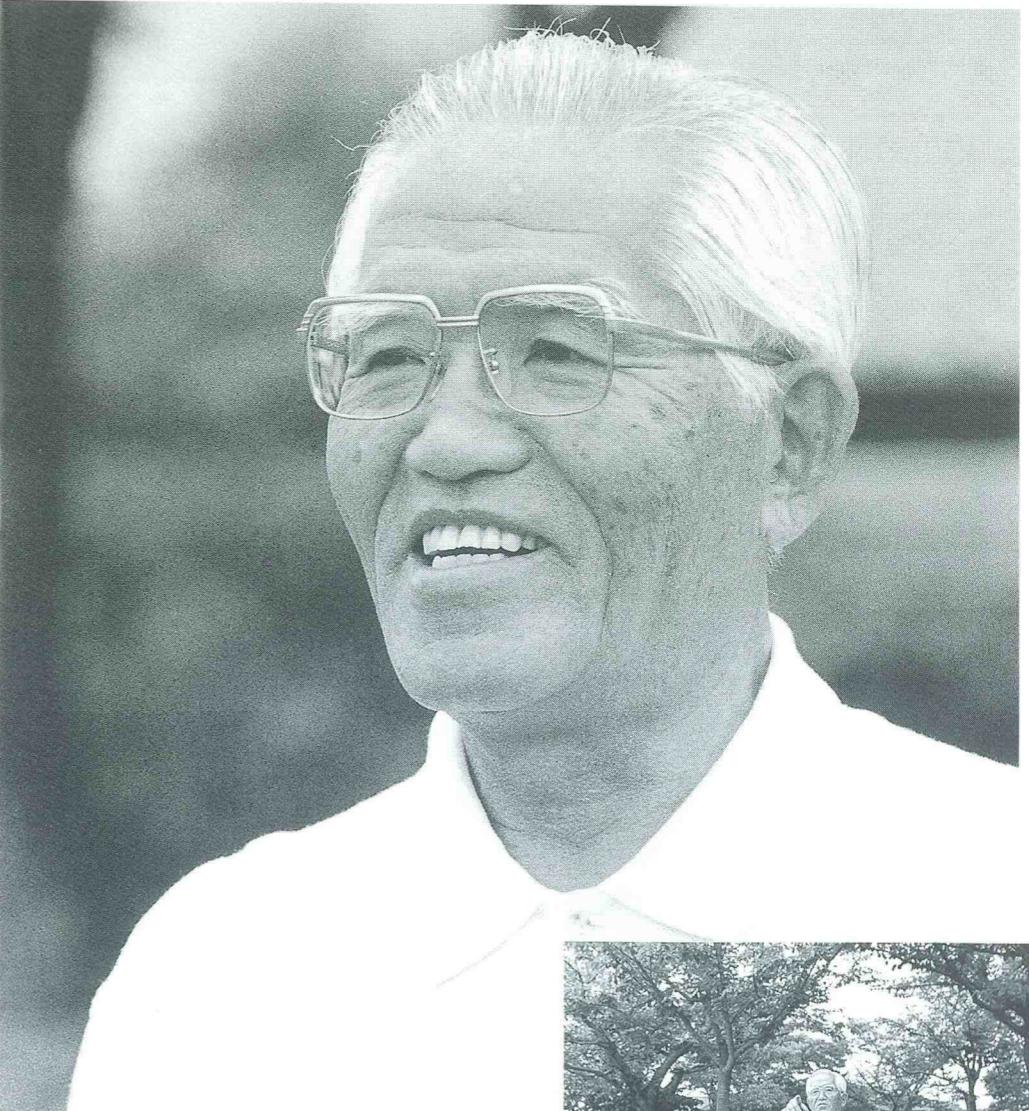
四季折々の風情を感じて

鹿児島市老人クラブ連合会会長
土岐 直通 さん

私の好きな 場所



春には、桜がきれいですよ
～一本桜公園にて



春には、桜がきれいですよ
～一本桜公園にて

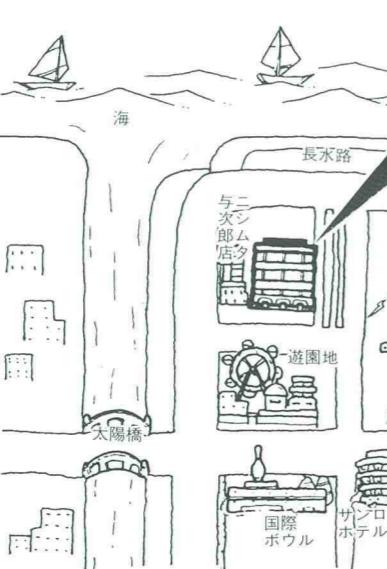
●一本橋公園（紫原六丁目）



紫原に引っ越してきて三十年以上たちましたが、私は、この公園が大好きなんですよ。周りが樹木に囲まれているうえ、周りの道路より高くなっているので、人の視線をあまり感じずにリラックスできる場所なんです。そして、何より静かなところがいいですね。ここで鳥のさえずりを聞いていると、時を忘れてしまいそうです。



高齢者福祉センター与次郎・ 高齢者デイサービスセンター与次郎



また、この公園はゲートボールコートが二面と
れ、みんなでゲートボールを楽しむのにも絶好の場
所なんです。ボールを打つときの音が、日本庭園の
鹿威しのよう響いて、なかなか風情もあります
よ。実は私、ゲートボールの一級審判員の資格を
持っているんです。ゲートボールは昭和五十八年に
始めました。計算してみると、もう十三年になるん
ですね。昨年の世界ゲートボール大会でも、審判
員をさせていただいたんですよ。いい思い出です…。
ゲートボールを通して、地域の輪がさらに広がれば
いいなあ、と思っています。

ここ紫原も、引っ越してきたころには住宅も少な
く、野原が広がるばかりの台地でした。麦畑もあ
り、ヒバリが鳴っていましたね。今では市内有数の
大型団地となった紫原。何か隔世の感がありま
すね。

そうそう、ここ一本桜公園は、その名のとおり春
先には桜が咲き誇ります。ソメイヨシノだけではな
く、山桜などもあるんですよ。そのため、花が咲く
時期も異なっており、桜が長く楽しめるんです。来
年の春の花見を、今から楽しみにしているんで
すよ。

●与次郎ヶ浜

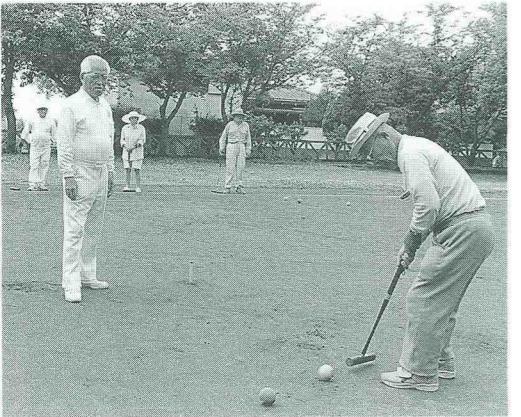
紫原に住みはじめの前は、下荒田に住んでいたんですよ。幼い子どもたちの手を引いて、よく遊びに来たものです。そのころとは、海岸線の様子は変わりましたが、今でもここに来ると、当時の懐かしい思い出が胸をよぎります。夏になると、ここで花火大会がありましたね。当時は今のように街灯もなく、夏の夜空に咲く大輪の花火は、たいへんきれいでした。いい場所で見たくて、朝から場所取りに出かけたものでした。

また、近くの鴨池には海水浴場もあって、子どもたちと泳いだり、砂浜で潮干狩りをしましたね。鴨池動物園の象が水浴びをしている姿も見たことがありますよ。

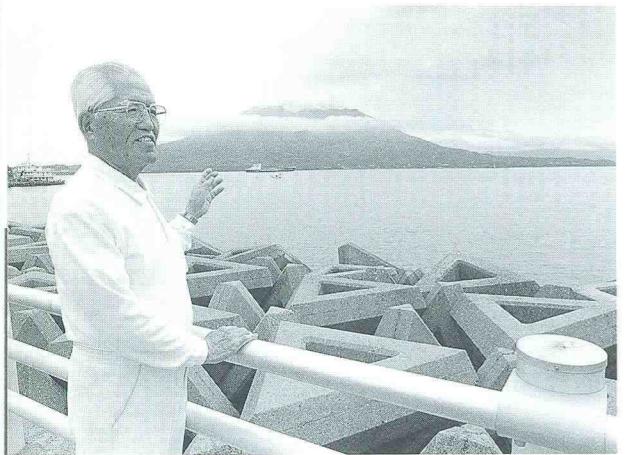
この与次郎ヶ浜に来ると、なつかしい潮の香りが漂ってきます。潮風を受けて、桜島をながめる……といへんぜいたくな時間だと思います。

そういえば、この与次郎ヶ浜には、高齢者福祉センター与次郎・デイサービスセンター与次郎も完成しましたね。浴室など人気があり、利用者も多いと聞いています。さつそく、私も利用してみたいと思っています。

●与次郎ヶ浜



ゲートボール仲間と 一本桜公園にて
=冬に詠んだ一句=
『寒天に 球音高く 泳えたり』



潮風が気持ちいいですね
～与次郎ヶ浜長水路にて
『山腹に 夏霧かかり 桜島』

取材メモ

会長は、この五月には県老人クラブ連合会副会長にも選任され、ますます多忙な日々を送っています。

今回は、その多忙なスケジュールを割いて、快く取材依頼を引き受けさせていただきました。

家庭では、よき妻と二男・二女の四人の子どもと六人の孫にも恵まれています。家族のこととうれしく思っています。

「そうに話す横顔には、優しい『おじいちゃん』の雰囲気が漂っています。また、会長は市ゲートボール協会の役員も努める一方、趣味として民謡を習うとともに、公民館で水墨画と俳句の自主講座に参加しています。若いころから波乱万丈の人生を送ってきた会長の人生訓は「人間万事塞翁が馬」。大島郡天城町出身、八十歳。

宇宿町宇宿墓地の最下段一番奥に、高さ二・三メートル、底辺が四十五センチメートル四方の堂々たる墓石がある。墓石の正面には「不損一刀居士」、他の三面には墓碑銘が刻してある。もともとこの墓石は旧脇田墓地にあったものだが、都計画によってこの地に移転したものである。

「島津国史」に、寛永八年（一六三一年）九月、島津家久、其ノ第二子忠平（忠朗）ヲ加治木ニ封シ、一万石ヲ領セシメ、木脇納右衛門祐辰ヲ輔佐トス、或

時祐辰事ヲ以テ忠平ニ進言ス忠平之ヲ用ヒス、祐辰怒ツテ加治木ヲ去ル、忠平祐辰ノ不都合ヲ責メ、之ヲ興国寺ニ囚ス、其後故アリ祐辰ニ死ヲ賜フ、祐辰自刃シテ胸臆ヲ刺スコト十一ヶ所、自ラ腸ヲ擗ミ出シテ死ス、とある。

「薩藩旧伝集」には、脇田で切腹仰せ付けられ、腹わたが出るまで腹を十文字に切り破りとある。墓碑銘は磨耗しているが、判読する

と、正保四年（一六四七年）六月二十八日、宇宿に於いて死を賜う。時に春秋三十五。この碑文は興国寺天柱和尚が記し、享保七年（一七三二年）祐辰の子孫祐盛によつて建立されたとある。

「中郡宇村誌」に、谷山街道上脇田川橋梁ノ北側墓地内ニ、明治半頃マテ脇田懸松ナル老松アリ、其ノ伝説区々ニシテ、

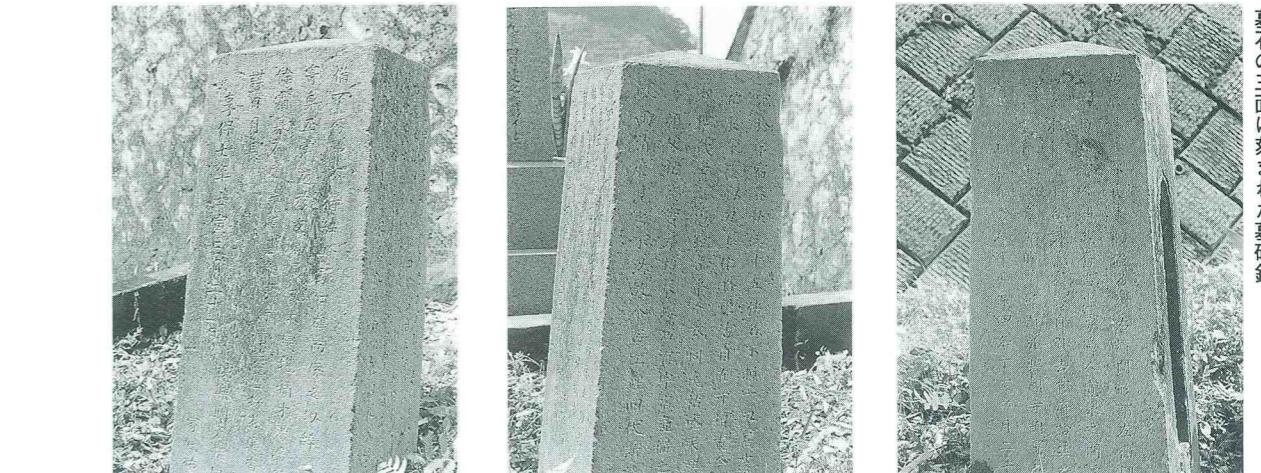
或ハ戦場ニ於テ刃折レ矢尽キタル勇士

ガ、割腹シテ其ノ脇ヲ松ノ枝ニ懸ケタルモノナリト云ヒ、或ハ病者が神社ニ其ノ快癒ヲ祈リタルモ効驗無キヲ憤リ、死シテ治病ノ神タラント屠腹、脇ヲ松枝ニ懸ケタリト云フ、「説共ニ正確ナル記録アルニアラズ、此ノ地ニ在ル」とある。

古老によれば、旧脇田墓地のほぼ中央に「はかん松」と呼ばれる大きな松の木があつたが、落雷で枯死したという。この松がいわゆる「わたかけ松」だったようである。

三十五歳で切腹、その臓物を近くの松の木に懸けたといわれる木脇納右衛門祐辰、さすがにぼつけもんである。「不損一刀居士」という法名は、興国寺の天柱和尚が名づけたもので、不損は不遙をもじつたのか、不屈の意味になぞらえたものであろう。碑銘によれば祐辰は興国寺で六年間閉居していたが、謝罪せず悠々自在、学道の生活をしていて、遂に切腹死刑となつた。

薩藩では藩主の意に叛いた者、乱暴・違法の者は、一度寺入りと称して寺院に閉居を命ぜられ、経書を読む義務を負わされた。改悛の機会を与えられたのである。祐辰は遂に自我を曲げなかつた。祐辰は生前、人々に敬愛され、勇者で武士の亀鑑であり、ぼつけもんでもあつたが、その死にぶりがまことに痛快である。



歴史探訪

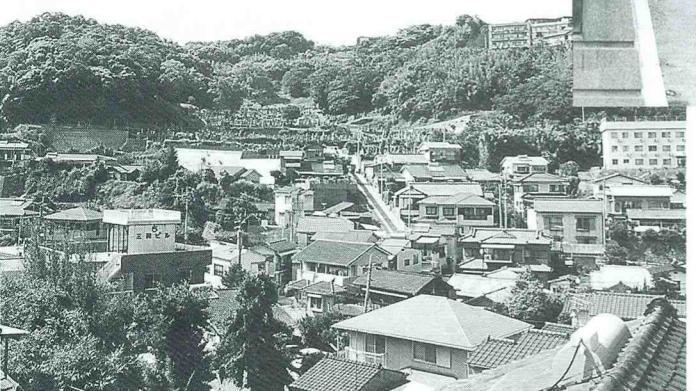
ふるさとの

薩摩のぼっけもん（快男児）
ふそんいちじん こ じ の はか
不損一刀居士之墓
鹿児島市宇宿町

旧脇田墓地があった辺り
(旧谷山街道)



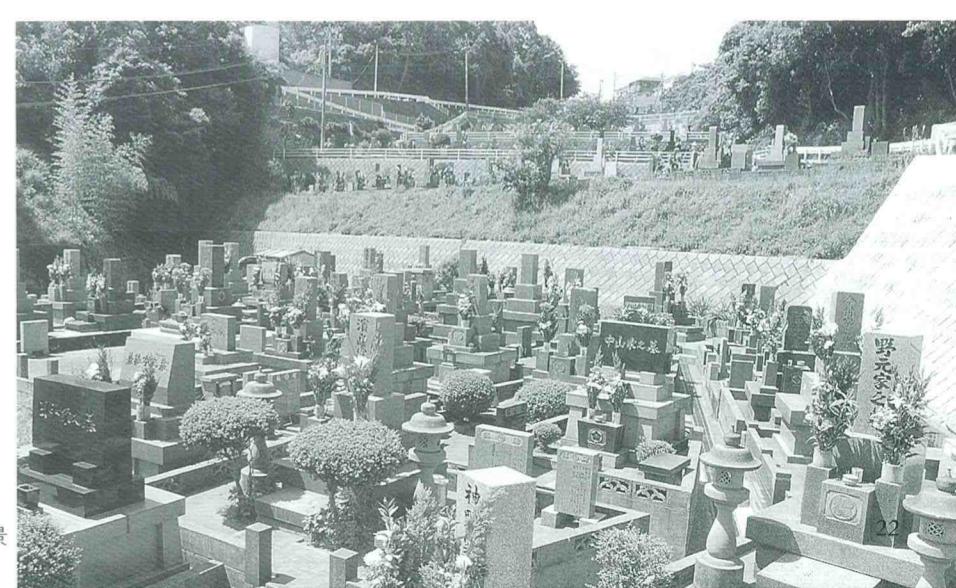
長田神社より興国寺跡（冷水町興国墓地）を望む



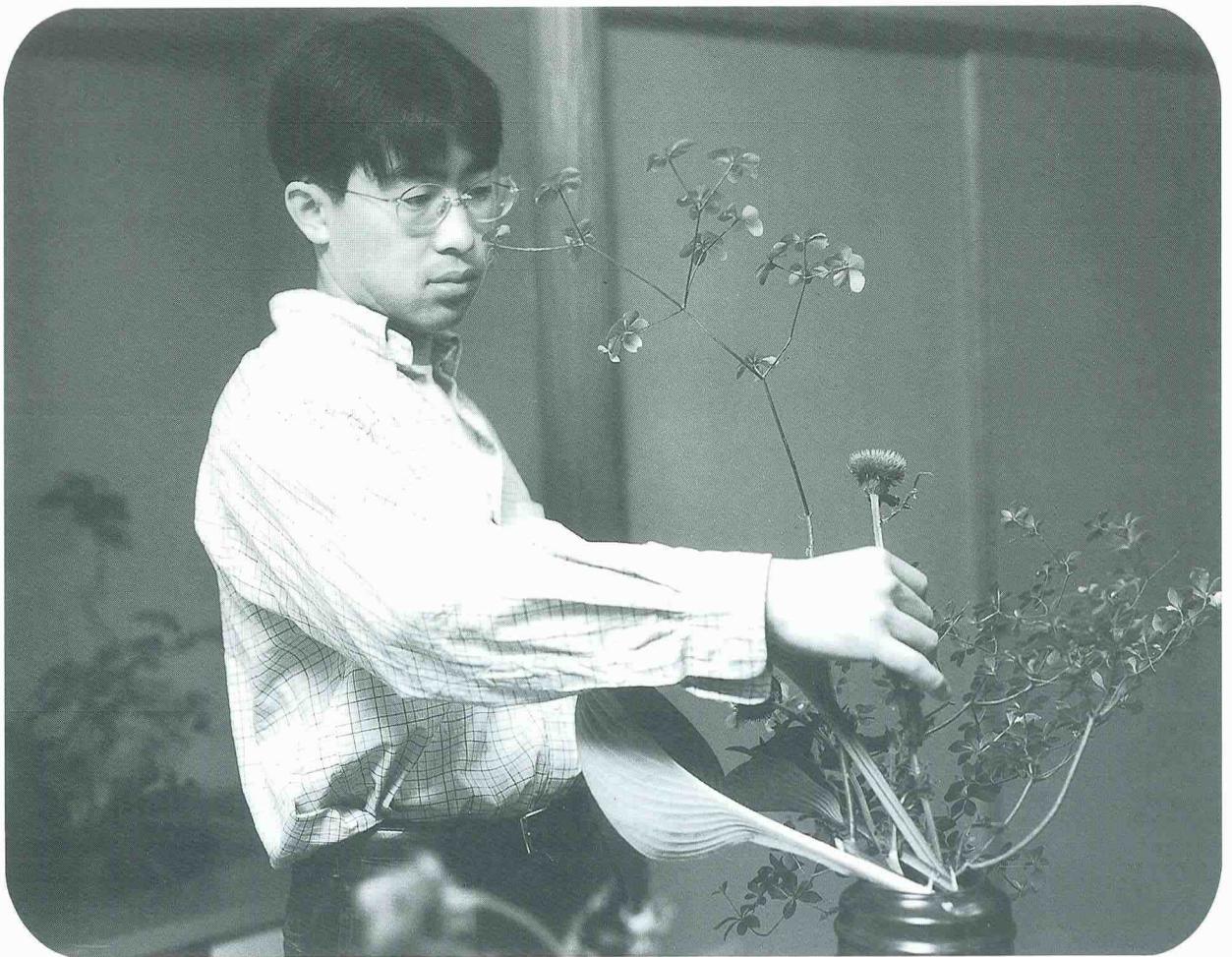
かつての宇宿脇田の住民が、「はかん松」と呼んで名所としていたことは、この気節の士をよほど惜しんだからであろう。薩摩人の美意識に強く訴えるものを持つていたからである。今では墓参りする人もなく、全くの無縁墓となり、墓地の片隅に淋しく置かれている。由緒墓として大事に保存したいものである。

前鹿児島市文化財審議会委員

木原三郎



宇宿墓地全景



よかタイム

YOKA-TAIMU

よかタイム 7つの質問

忙しい仕事のかたわら、一人でインド旅行をしたり、車が大好きだったりと、とても活動的な大野さん。生け花のときも、真剣な表情ながら、リラックスして楽しんでいる姿が印象的でした。

A3 Q3

好きな花材は?
一番好きな花は、黄色いチューリップです。けれども、四季折々、花も緑の葉も枝もすべて美しいものです。

A2 Q2

生け花を始めたきっかけは?
実は、実家が花屋なので、そのせいというのありますね。直接のきっかけは、同じ花屋の息子である友達から誘われてです。

A1 Q1

生け花を始めたのはいつですか?
約2年前からです。忙しいときはなかなか練習できなかつたりするけれど、今まで続けています。

得意な生け方がありますか?

A7 Q7

女性の魅力は?
これから生け花を始める人へ一言
ほっと一息できますよ。

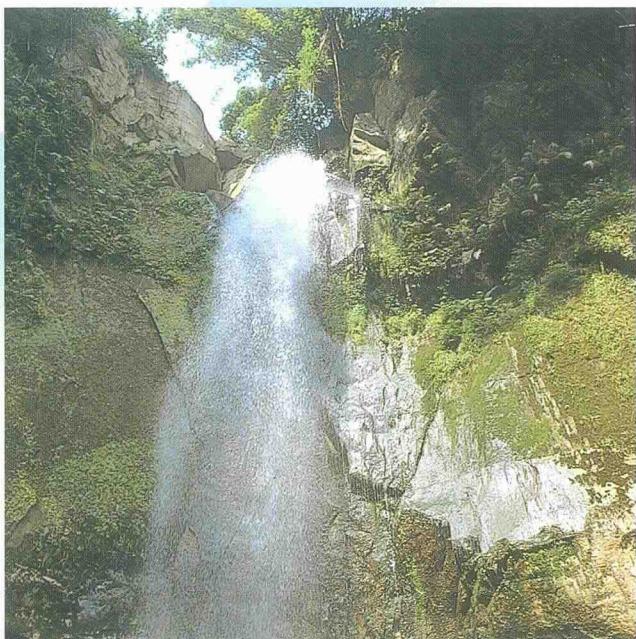
A6 Q6

生け花の魅力は?
最小限の花材で、自然の美しさを最大限に表現しようとするところかな。

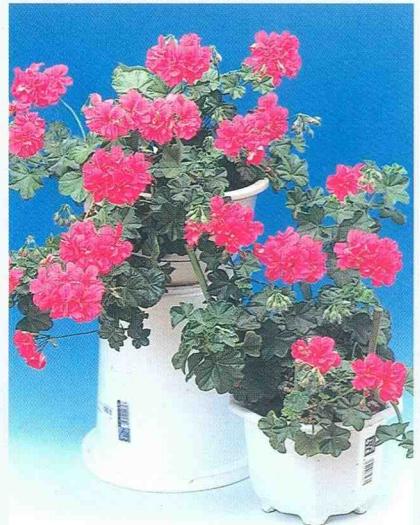
A4 Q4

得意な生け方がありますか?
腕前はまだまではが、奇をてらわずにすつきりと生けられたときはうれしいですね。

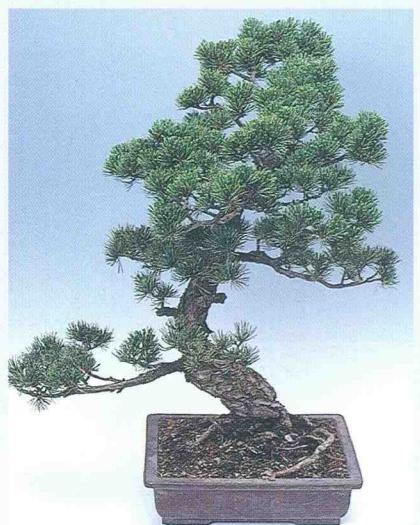
かわしま の自然



（比志島の滝（皆与志町）周辺）
梅雨の晴れ間に初夏の香りを感じながら、木立の中を進んでいくと、滝の音が聞こえてくる。岩や倒木などを乗り越え、たどりつくと、そこは別世界。
しぶきが汗ばんだ体を冷やしてくれる。
ふと、周りを見回すと、生き生きとした自然の営みが目に飛び込んできた。



「ゼラニューム」喜岡 澄子さん



「五葉松」岡田節子さん



「カルセオラリア」金里詔子さん



「クレマチス」喜岡 澄子さん



「セントボーリア」篠原重行さん



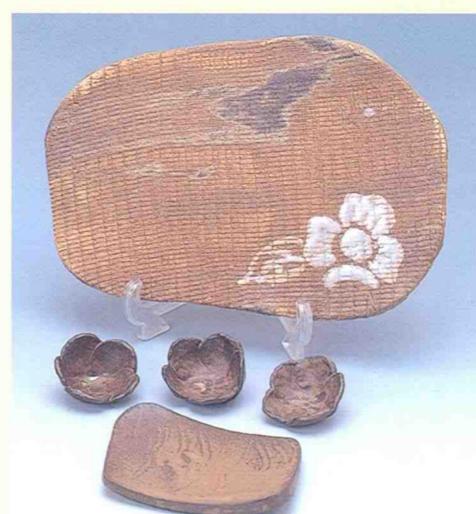
岩元美津子さん



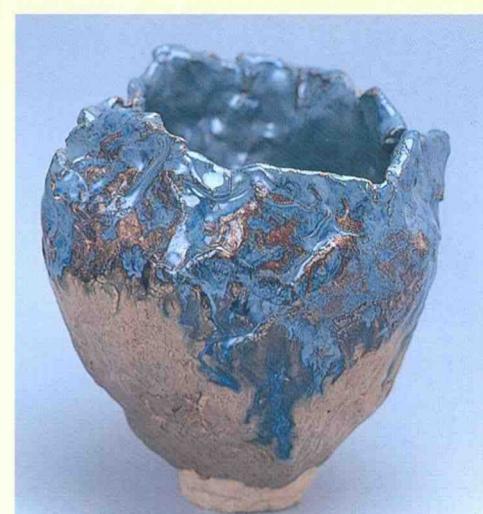
濱島富雄さん



濱田満さん



樺山かほるさん



岡和子さん

いろいろなものにチャレンジしている両グループの皆さん。その目はいきいきと輝いていました。皆さんの作品をゆっくりと鑑賞ください。

栽培・管理の技術習得のために勉強会を開いたり、会員の自宅を訪れて互いにアドバイスをし合うなど、和気あいあいと活動しています。

家庭園芸「緑花会」は児玉幸明先生を中心に関月第一・三土曜日に例会を開いています。平成三年から活動を始め、現在のメンバーは三十人です。

講座の修了生で十八人です。

自分たちで窯入れ・窯出しをした器に花を生けたり料理を盛つたりと、陶芸だけにとどまらず、いろいろと楽しんでいます。

陶芸「野々花」は現在、外山朝子先生を中心に関月第二・四金曜日に活動をしています。メンバーは、平成四年度の公民館紹介します。

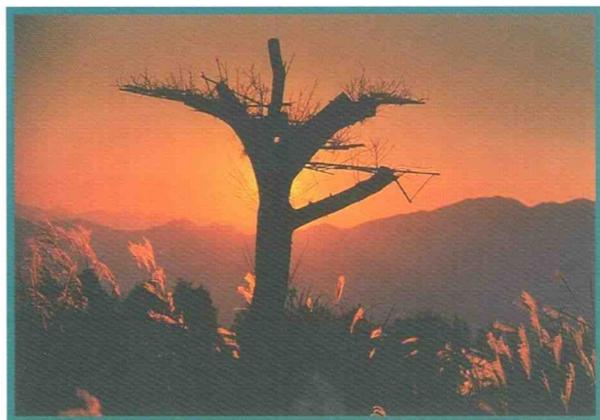
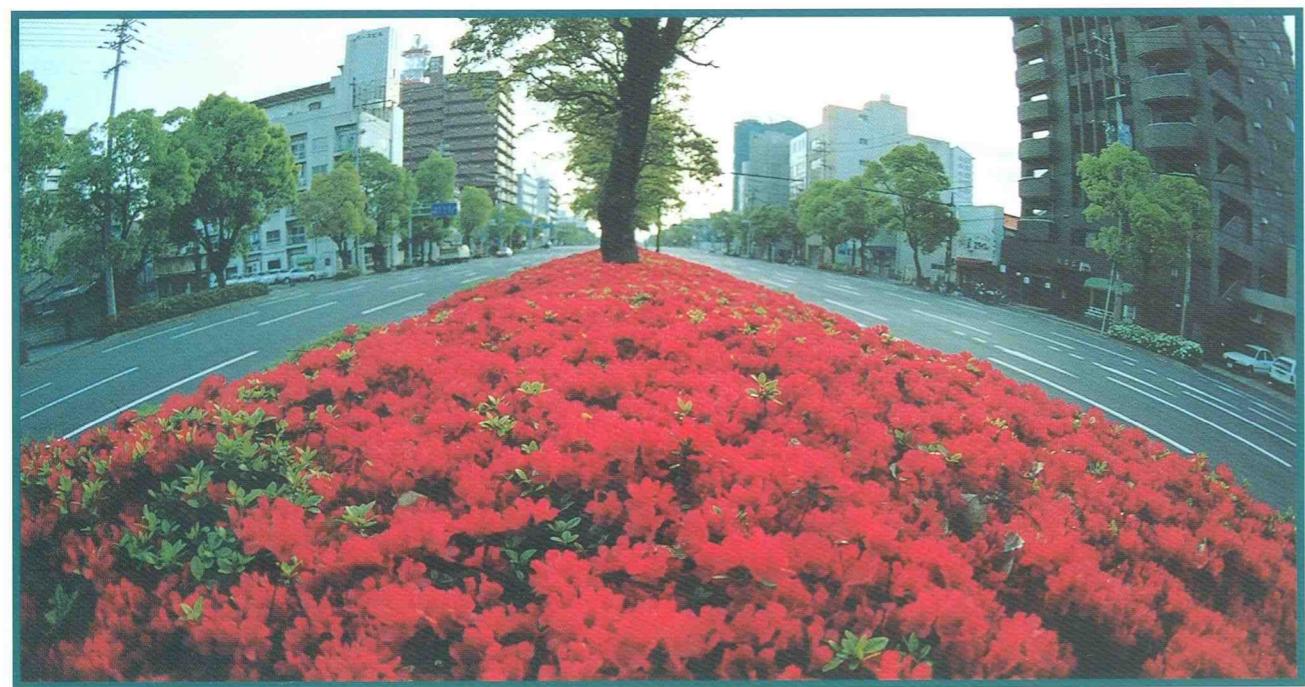
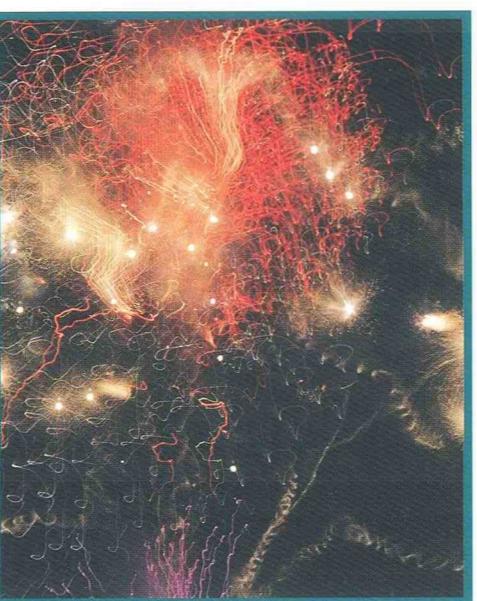
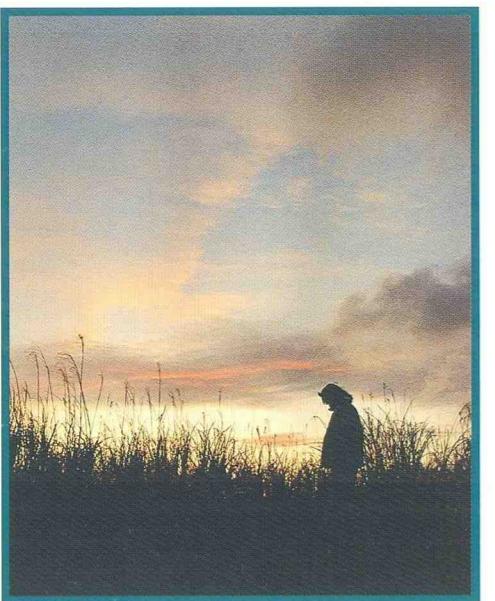
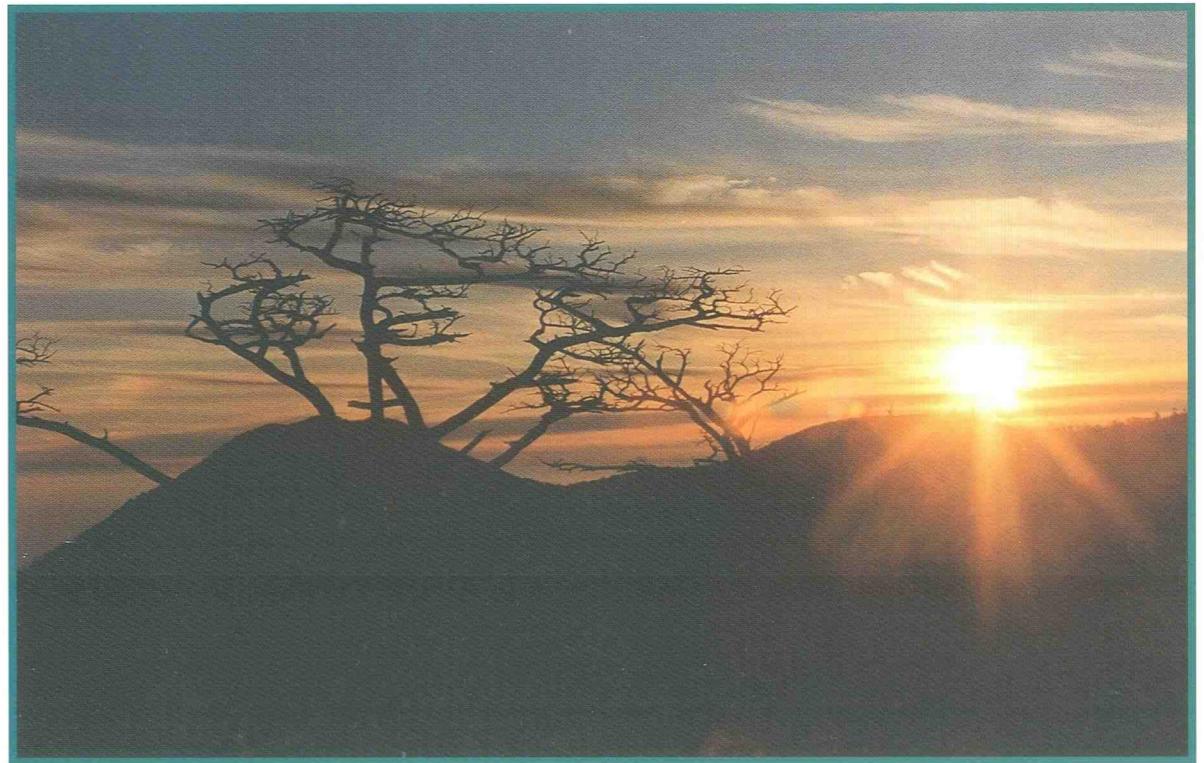
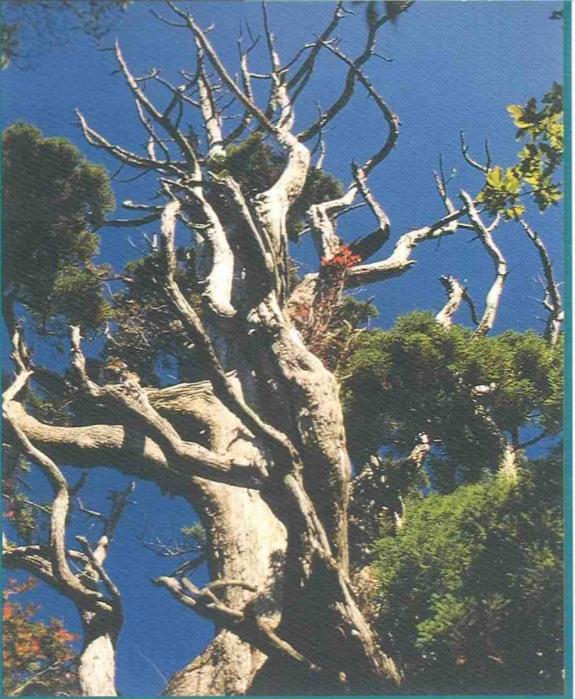
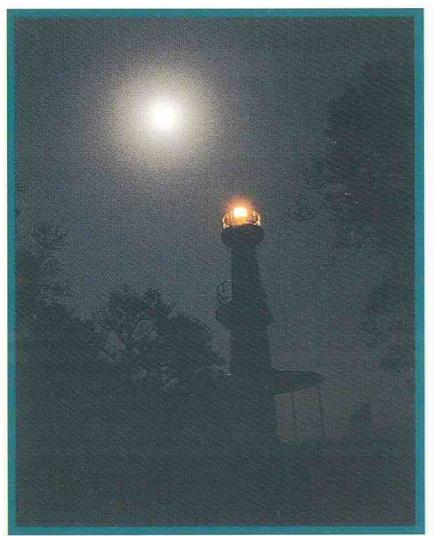
みんなで学ぶって、楽しいですよ。

今回は中央公民館の利用学習グループで陶芸「野々花」と家庭園芸「緑花会」の皆さん的作品を紹介します。

市民ギャラリー
●中央公民館・利用学習グループ●

あなたのフォトサロン

写真 佐藤 良一さん





会の名称は、鹿児島独特の郷中教育の「山坂達者」という言葉をそのまま引用したものの。言葉の持つ本来の意味や厳しい響きとは対照的に、会は和気あいあいとした雰囲気の中で活動している。

会の結成から四年目を迎える現在の会員数はおよそ五十人。二十代から七十代までの幅広い年齢層を誇る。職業も多種多様。普段はあまり交流することのない、さまざまな職業の人々との会話が弾み、異業種間交流の輪が広がる。

会は、月一～二回、九州内の山々を中心とする山行を企画・実施している。また、毎年夏には北アルプスなどの高山へ遠征したり、五月の連休のヒマラヤトレッキングも四年連続実施している。

（問い合わせは鮎川さん 090-1234-1234（050））

「山歩きの楽しみは奥が深い。『登山』＝『歩きつい』というイメージが強いけど、うちの会が目指すのは、スポーツ登山ではなく『野山歩き』。登山の苦しみを乗り越えた達成感よりも、自然とのふれあいや美しい風景との出会いに喜びを感じます。この感動は、歩き通した人しか得ることのできないものなんですよ」と会員は口をそろえる。

会員には『山坂達者の会』に恥じないあらゆる達人がそろっている。花の達人、鳥の達人、写真の達人、温泉の達人、野外料理の達人、無線の達人、そして宴会の達人などなど。

皆さんも、これらの達人と一緒に、山歩きの奥深さを実感してみませんか？



平成6年5月ヒマラヤ・ランタンにて～トレッキング～

集えば楽し

「山坂達者の会」

自然とのふれあいに
喜びを感じて



市立美術館

●大黒天● (1914)

木彫・高さ183.5センチ
ちゅうのすけ
作者/新納忠之介 (1868~1954)



新納忠之介

作者は鹿児島市の生まれ。幼いころから木彫りを好んだらしく、城山の麓にあった三州義塾でも毎日本彫りに熱中して、学業成績は芳しくなかったという。この熱中が優れた才能の表れであったことは、岡倉天心を校長とする東京美術学校彫刻科卒業の翌年、1895年に同校助教授に任命されたことで立証される。彼は彫刻家を志していた。

しかし、日本古美術の荒廃を憂う天心は美術学校を辞して、日本美術院を結成するにあたり、制作部門である第1部と古美術修理保存技術研究部門である第2部をおいた。そして、共に学校を辞した新納を第2部の責任者とする。「新納、お前は奈良で死んでくれ」という天心の要請を、彼は苦悩の末に受けたという。

また確立されていないさまざまな修復技術のバイオニアとしての日々の中で、彼は米国の日本古美術研究者ウォーナー博士と出会う。その生涯続く師弟、学者、人間としての2人の交友は、やがて奈良、京都をはじめとする各地の古美術を戦火から守るという奇跡を生んだ。

86歳で奈良に没するまで、新納が修復した仏像の数は2,631体に及ぶ。日本の古美術を二重に守った人である。

解説

大黒天は初めインドで戦斗破壊神として発生し、中国に伝わると武将神、さらには寺院の守護神、豊穰神となり、福徳神となつて笑みを浮かべた福の神になる。本像はその変容の過程にあるもので、なめらかなのみ跡や全体のバランスなど、非凡な技を伝えるものである。

岡倉天心が大正二年に没し、奈良美術院経営の重責が自分の双肩にかかるについたことを自覚した新納は、その力のすべてを尽くしてこの像を模刻することにより、古仏の修復に生涯をかけようと固く決意したのではなかろうか。

台座左に次のように墨書きされている。
木像 大黒天像
大正三年、福岡県觀世音寺所蔵の国宝を模し、この像を刻み、今記念のため鹿児島市に寄贈する。

市立美術館館長
坂下弘至

お気軽に
ご利用下さい



◇しごとの内容

- 住民票の写しの交付
- 住民票記載事項証明書の交付
- 公的年金記載事項証明書の交付
- 印鑑登録証明書の交付
- 戸籍謄本・抄本の交付
- 戸籍の附票の写しの交付
- 身分証明書の交付

◇利用できる時間

- 午前10時～午後6時

◇利用できない日

- 水曜日
- 年末年始(12月29日～1月3日)

◇場所

- 西鹿児島駅舎2階
電話番号 285-5502

西鹿児島駅 市民 サービスステーション

西鹿児島駅市民プラザ



市政の情報を
身边にキャッチ

◇利用できる時間

- 午前10時～午後6時

◇利用できない日

- 水曜日
- 年末年始(12月29日～1月3日)

◇場所

- 西鹿児島駅市民サービスステーションと併設